

雄物川流域の河川改修(秋田県秋田市)

5か年加速化対策

3か年緊急対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

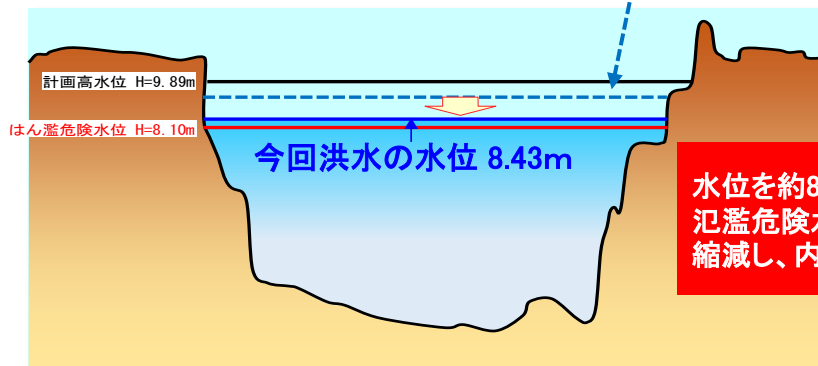
効果概要:平成29年7月洪水を踏まえた激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備に加え、5か年加速化対策や3か年緊急対策等による河道掘削の実施、玉川ダムの洪水調節により、令和5年7月洪水において、椿川地点(河口から約13km付近)では水位を約88cm低下させ、雄物川本川からの外水氾濫を回避し、浸水被害を防止。

府省庁名:国土交通省

- 実施主体: 国土交通省東北地方整備局
- 対策の概要: 築堤、河道掘削、排水樋門 等
- 事業費: 約480億円(H29~R5年度継続中)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 約145億円)
(うち3か年緊急対策約40億円)

水位低減の効果

河道掘削が行われず、洪水調節が行われなかった場合の水位9.31m(推定)



令和5年7月大雨時の効果

未整備の場合

築堤、河道掘削やダムによる洪水調節が行われなかった場合、外水氾濫により、大仙市間倉地区(秋田新幹線の軌道敷など)で浸水するなどの被害が想定された。



331mm/24時間の雨量を記録
(観測史上第1位) ※仁別雨量観測所

外水氾濫による被害なし

※内水氾濫により、秋田市中心部などで甚大な被害が発生。

※本資料の数値はR5.8時点の速報値であり、今後の精査等により変更となる場合がある。

